

ニュージーランド準備銀行は6月に続き政策金利を引き下げ

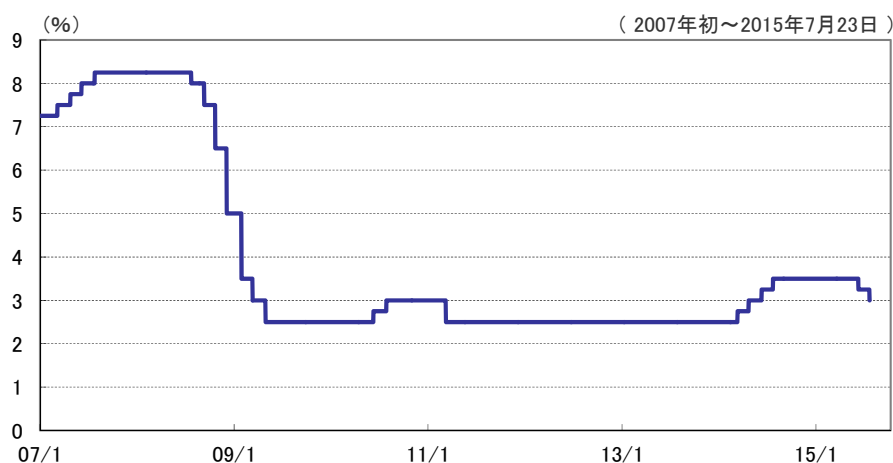
2015年7月23日

<2カ月連続の利下げ>

7月23日(現地、以下同様)、RBNZ(ニュージーランド準備銀行)は政策金利を0.25%ポイント引き下げ、3.00%にすると発表しました。6月に続き、2カ月連続の利下げです。エコノミストの大半は0.25%ポイントの利下げを予想しており、おおむね市場予想通りでした。

RBNZは2014年3月以降、4回連続で0.25%ポイントずつ、計1.00%の利上げを行い、政策金利を3.50%とした後、据え置きを続けてきました。その後、2015年6月に利下げを実施した上で、追加緩和の可能性も示唆していました。

ニュージーランドの政策金利の推移



<乳製品価格の下落について>

乳製品はニュージーランドの輸出額の約3割を占める主要品目で、足元の価格下落が顕著になっています。ニュージーランドの大手乳業会社フオンテラの主催する毎月2回の乳製品オークションに基づいて算出された乳製品価格指数は、7月15日に前回(7月1日)比で▲10.7%と大幅に下落しました。9回連続の下落で前年比では▲41.1%となりました。

乳製品価格下落の背景として、供給過多となっている需給構造が指摘できます。需要面では中国やロシアの輸入需要が低迷しているのに加えて、供給面ではEU(欧州連合)が2015年4月より生乳クォータ(生産割当枠)制度を廃止し、好天により穀物や牧草生産が増加する見込みの中で、生乳生産量を増やしたことで供給過多となり、価格下落につながったとみられています。ただし、6月の金融政策報告書でRBNZは、乳製品価格が7-9月期以降緩やかに持ち直すとの見通しを示しており、今後の価格動向に注目が集まります。

乳製品価格指数の推移



(出所)ブルームバーグ

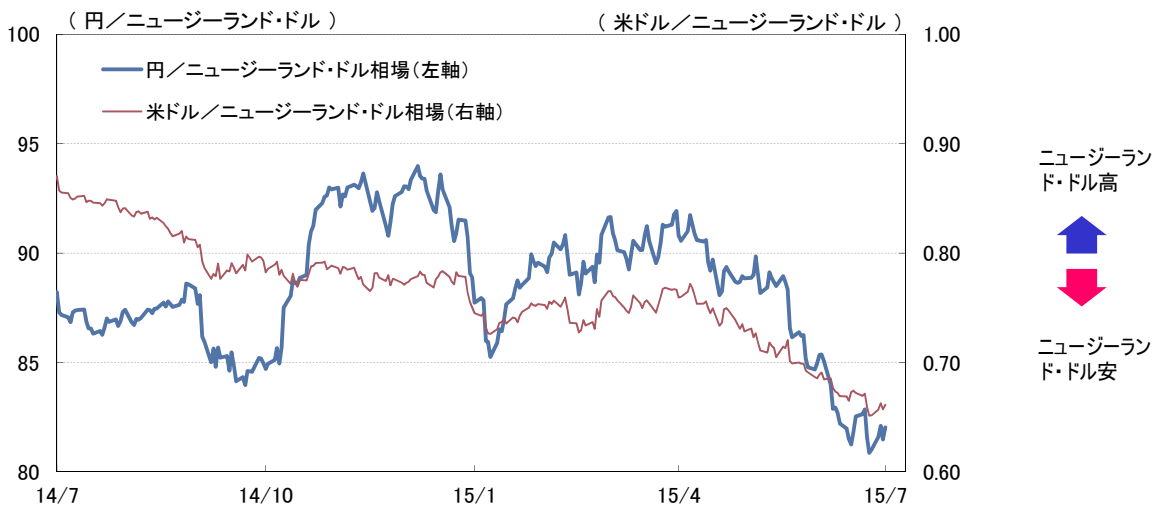
<今後の見通し>

RBNZは声明文で、今後の金融政策に関して現時点ではさらなる利下げの可能性が高いと述べ、追加緩和の可能性を示唆しました。RBNZの緩和的な姿勢と通貨高に対する懸念がニュージーランド・ドルの上値を重くすると考えられます。

一方で、乳製品価格に反転・上昇の動きが見られれば、ニュージーランド・ドル相場の支援材料となることが期待されます。また、利下げが実施されたものの、政策金利は3.00%、10年国債利回りは約3.4%と主要先進国に比べ相対的に高い金利を背景とした海外投資家の資金流入がニュージーランド・ドルの下支えとして期待されます。

ニュージーランド・ドルの推移

(2014年7月23日 ~ 2015年7月23日 東京時間10時現在)



以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。